

第10回まつやま景観賞募集

締め切りは平成28年9月30日(金) (消印有効)

市内の良好な景観に貢献している建築物、屋外広告物、まちなみ景観・まちづくりの活動などを募集します。

内容・対象

建築部門

魅力ある景観の形成に貢献している市内の建築物・工作物などで、意匠・形態・色彩・材料などに工夫が見られるもの



第9回きらめき大賞森の回廊-L∞p-大谷歯科矯正歯科

屋外広告物部門

魅力ある景観の形成に貢献している市内の屋外広告物で、周辺環境に調和したもの

まちなみ・まちづくり部門

松山らしさを醸し出し魅力のある景観で、将来にわたって守り育てていくべき街並み、街路、自然などがみられる景観もしくは地域住民が主体となって行っている活動やイベントなどで地域の個性や魅力ある景観につながり、現在も続いているもの

応募方法 平成28年9月30日(金) (消印有効) までに、直接または郵送、ファクス、eメールで、部門、物件

名称、所在地、応募(推薦)理由、応募(推薦)者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を〒790-8571 都市デザイン課「第10回まつやま景観賞事務局」(市役所本館7階) toshikeikan@city.matsuyama.ehime.jpへ ※選考結果は平成29年2月ごろ入賞者に通知し、市ホームページなどで公表します。入賞者には表彰状と記念品を、入賞作品の推薦者に記念品を贈呈します

問 都市デザイン課 ☎948-6518・FAX 934-1807

緊急事態に備えよう!

11月9日は119番の日

「119番の日」は、消防への理解を深め、防火・防災意識を高めてもらおうと、昭和62年に制定されました。

昨年の消防局への119番通報は、4万861件で1日平均111.9件でした。このうち火災・救急などの災害通報は2万4,734件(60.5%)で、問い合わせ・間違いなどの災害以外の通報が1万6,127件(39.5%)。119番は皆さんの生命・財産を守る大切な緊急電話です。適正な利用をお願いします。

緊急通報以外の問い合わせ先 火災情報など ☎925-6622、救急病院案内 ☎925-6633

「モバイル松山消防」に登録を

市内を対象に震度4以上の地震や津波、火災情報などを携帯電話などに配信します。

登録方法 ①登録用アドレス mtym@px.wagmap.jp に空メールを送信(二次元コードから送信可) ②すぐに届く登録案内メールのURLにアクセス ③利用規約を確認後「同意する」を押す ④登録画面のパスワードを入力し、希望情報にチェックを入れ「確認」を押す ⑤内容を確認し「登録」を押す ⑥登録完了メールが届く(登録完了)

問 (消) 通信指令課 ☎926-9103・FAX 926-9198



救急ワークステーション

県の協力で県立中央病院西隣に整備を進めていた市救急ワークステーションが10月1日オープンし、記念式典が開催されました。同施設は、救急救命士に義務付けられている「再教育病院実習」を、救急出動できる体制を維持したままできる仕組みで、このよう

救急ワークステーションがオープン

な「常駐型」の方式は中四国では初。開所式のあいさつで野志市長は「2年間で48時間の病院実習が必要な救急救命士にとって、出動と実習が両立でき、さらに医師の救急車同乗で救命率向上に期待している」と述べました。同施設には救急隊が1隊常駐、県立中央病院の医師が同乗して出動する体制が24時間365日に拡充されるほか、隊員が交代で研修に参加する体制をとり、脳外科や産婦人科といった専門的領域の研修も可能になり、隊員の救急技術向上が期待できます。

問 (消) 総務課 ☎926-9213・FAX 926-9144

主な事業

第2次小中学校校舎耐震化事業	21億80万円
道路・下水排水路等整備事業	9億6,640万円
障害者支援施設等整備補助事業	7,400万円
小規模保育改修費等支援事業	4,950万円
中学校吊り天井脱落対策事業	1,892万円
農業振興事業	1,832万円
瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業	1,587万円
美しい街並みと賑わい創出事業	1,000万円
国際観光客誘致促進事業	810万円
人口減少対策プロジェクト推進事業	505万円

9月補正予算が定例市議会で決まり、補正額は一般会計のみで33億9021万円、累計は1847億7529万円(前年同期比2.75割増)となりました。

9月補正予算 一般会計33億9021万円

安全・安心や福祉・保育の充実に

安全・安心の確保

小中学校校舎の耐震化を引き続き推進するほか、中学校柔剣道場などの吊り天井の脱落防止対策に取り組みなど、市民の安全・安心の確保を図ります。

福祉・保育の充実

小規模保育事業所開設事業者や障害者支援施設を新設する事業者への支援を行い、保育環境の充実と障がい者が安全に生活できる環境を確保します。

地域経済の活性化など

外国人観光客の誘客に向けた取り組みを拡充するほか、農業振興や道路・下水排水路の整備など地域経済の活性化を図ります。また、美しい街並み景観などの創出を支援し、官民連携のまちづくりを推進します。

問 財政課 ☎948-6350・FAX 934-1803

互いの長所を生かした相乗効果の発揮を目指して

第1回瀬戸内4県都市長会議開催



4市の市長が意見交換

瀬戸内の中心都市である岡山市、広島市、高松市と本市の市長が参加し10月2日、第1回瀬戸内4県都市長会議が開催されました。これは、4市で観光振興や販路拡大などの共通課題に取り組み、互いの長所を生かして相乗効果を発揮す

ることを目指したものです。会場となった道後温泉本館で野志市長は「これから瀬戸内海に漕ぎ出し、4市連携して新しい施策を展開していきたい」とあいさつ。各市長からは「大型プロジェクトの話題性を活用した広域観光周遊ルートの構築」や「共同プロモーションや各市のネットワーキングを活用したイベント・特産品などの情報発信」などさまざまな提案が出されました。今後はこれらの提案を基に、4市で協議し連携事業の実現を目指していきます。次回会議は来年秋ごろ岡山市で開催される予定です。

問 企画戦略課 ☎948-6341・FAX 934-1804

市長期的水需給計画を検証

第1回市水資源対策検討委員会開催



委員会の様子

平成16年2月に策定した長期的水需給計画を検証するため9月24日、第1回市水資源対策検討委員会が開催されました。これは、本市が取り組むべき水資源対策の方向性を示す「市長期的水需給計画」について、有識者などから

幅広い意見を聴取し、新たな計画の参考とするため設置したもので、野志市長は「人口減少や異常気象など、社会的、自然的な状況の変化を計画に反映させる必要があるかどうか検証を行うにあたり、さまざまな立場からご意見をいただきたい」とあいさつ。その後、担当者から将来の人口予測やアンケート調査などを通じて水需要量を算定する方針が説明され、委員からアンケート内容に関する質問などが出されました。今後は、平成28年7月まで会合を重ね、新たな計画を作成する予定です。

問 水資源対策課 ☎948-6947・FAX 934-1886